

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうゆうクラブ			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年11月12日 ~ 2025年11月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	18歳以降の余暇支援を意識し、日々ゆうゆうクラブ内での活動に組み込み行っています。	様々な活動内容を経験して頂くことで、お子様それぞれの興味が広がったり、得意な事をより伸ばしていくことが出来るよう取り組んでいます。 高学年になると、企画活動を取り入れており、グループで話し合い(SSTを含む)、一つの目標に向けて実行していく中で、やりたいと思う事をどう実行していくのか、そのためには何が必要になるのか等を考える機会を作り、意見を出し合いながら達成へと繋げています。	活動内で費用のかかるものに関しては、予算を考えたり、お金の使い方だけを知るのではなく、お金の大切さを十分に伝え知らせていく仕組みも必要となります。
2	余暇活動の生でも、趣味や個人がやりたいことだけを行うではなく、自宅でのお手伝いやお掃除、お買い物など幅広く捉え、その部分も活動に取り入れ行っています。	学年や発達段階の違いに配慮し、グループを分けての活動内容としています。また、事前説明では視覚教示も多く取り入れています。	自宅で一人で行える事を増やしていくため、環境の設定や、実際に活用できるよう、自宅で出来る内容のものと乖離しないようしています。
3	一年生から六年生までのお子様が一緒にご利用くださっている為、低学年の方はモデルとなる高学年の姿があり、高学年の方は、年下のお友達の事を考えて行動したり、配慮するという環境があります。	ペアを組むときや、グループ分けを行う時は、意図して役割を全うできるように組み合わせています。みんなで一緒に一つの事を行う等の機会を増やし、一人で過ごすよりも相談したり、頼られたりする中で、解決していくことが出来たという経験も持ってもらえるよう、取り組んでいます。	高学年だけが負担にならないよう、高学年も困った時には相談しながら進めて行くことの出来るよう、分かりやすい環境設定にも配慮します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士、関わって頂く機会が少ないです。	お仕事の関係もあり、茶話会等なかなかご参加頂くことが難しく、幅広く開催が出来ていません。	数か月前から日程のお知らせをする事や、土曜日や祝日に開催出来るような改善、また回数を増やしていくことが必要です。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、全ての保護者様に周知されていません。	一堂に集まってご報告を行う機会を持つことが出来ていない、またそのご連絡アプリでの報告も全ての保護者様が確認されているかの確認ができない状況です。	継続して職員に周知徹底し訓練、研修を実施すると共に、保護者会等を通じて保護者様への周知、また確認にも努めていきます。
3			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年12月26日

事業所名: 放課後等デイサービス ゆうゆうクラブ

対象人数(保護者)29人 回答者数 25人 回収 86.2%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3		1	少し狭いと子供達は言っていました	十分に広いとは言えない環境ではあるので、グループごとに部屋やスペースを分け、スペースの確保に努めています
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		3		安全面への配慮とともに、こまめにお子様をサポートできる体制を検討していきます
	③ 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		3	適切な構造や設備がどれ程のものを求められているのか、質問の意味がわからない。 住環境に基づいた構造で指導していると言う意味ならば「はい」でいいかと思われるが…	来所時の階段の昇降についてはバリアフリー化が難しく、職員が注意を払う形で利用して頂いています。室内では一日の視覚提示などでわかりやすくなるようにしています
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		2	清潔を保とうと努力されているとは思うが、築古年である故の不便さはあると思う	生活空間は日々の清掃に加え、空間を分けて活動する等、出来る限りの工夫をしています

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1		2		研修の実施や、支援内容の振り返りを行い、支援の質を上げていくことが出来るよう努めます
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25					
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			1		支援内容を確認しながら、毎日の活動に配慮すべき点を取り入れ、活動を行っています
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1		計画の内容に沿った支援を計画し、活動後に振り返りを行い、日々の支援内容について会議を重ね、計画からズレが生じないようにしています
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	4		2	様々な楽しい活動プログラムを考えてくださっている。	発達段階に応じつつ、同じ内容に固定しないように工夫し、新しいものも取り入れていきます
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	3	10	なくていい。そこと交流する意義がない。状況が煩雑になり、療育環境が整わなくなると思われる。	現段階では要望は無く、事業所として実施の予定はございません。必要に応じて実施を検討します

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	5		1	高校卒業後の進路やグループホームについて詳しく教えていただきました。今のうちから将来に向けて情報を頂けるのがありがたいです。	研修会等のご案内や講演会の実施はありましたがあれ、ペアレントトレーニングは実施できておりません。今後検討していきます
	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1				HUGアプリでの連絡手段や、緊急や体調に関してはお電話でのお伝えもしています。送迎時はなかなかお時間を十分に取る事が出来ないため、別の機会に面談と言う形でお伝えさせて頂いています
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1				今後も定期的な面談に加え、HUGアプリやお電話による相談対応も行っています
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24			1		今後も保護者様のお話を聞き、お伝えの仕方や、支援についてを改めてチームで考えていきます
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	3	1		全事業所でのイベントの開催は夏、冬と行い保護者様やごきょうだいにもご参加頂き、交流の場を設けています。保護者会や茶話会、保護者参観等を実施し、意見交換会の場を増やしていくことが出来るよう検討します
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1				具体的に保護者様からのご要望を聞き取れるような体制を作り、適切な対応を行っていきます
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2		1	HPはないが、当該情報はアプリで確認できていると思う。	HUGアプリにて、活動報告や行事予定をお伝えしています
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			2		個人情報の取り扱いについて、保護者様向けのガイドラインをいつでも閲覧できるよう、玄関に設置しています

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			1		継続して職員に周知徹底し訓練を実施すると共に、保護者会などを通じて保護者様への周知にも努めます
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		2		定期的に実施すると共に、実施した報告をHUGアプリによる活動報告などでも発信していきます
	㉕	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1				必ず研修を実施し、途中入社の職員にもその都度研修を行い、安全確保についても周知出来るようにしています
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			2		安全管理について発生から処理の過程についてフローチャート等を作成し、保護者様向けにいつでも閲覧できるよう、玄関に設置しています。また、事故や怪我が発生した際は、迅速に保護者様へお伝えしています
満足度	㉗	子どもは安心感をもつて通所していますか。	23	2				お子様のご様子について定期的な面談やHUGアプリ等を活用し、お子様に安心してご利用して頂けるよう情報共有に努めます
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	6	1		とても楽しみにしています。生きがいになっています。 毎回、楽しく通っています。 ありがとうございます。	今後も活動の内容見直しや、季節ごとのイベント等も企画し、楽しく通っていただけるようにしていきます
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	25					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆうゆうクラブ	公表日	2025年12月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動内容により、集団を分ける等しています
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		パーテーション、カーテンでの遮りを作り、刺激を減らす環境づくりを行っています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		換気、塩素での消毒等を毎日行っています
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		音刺激等により、集中できない場合等、別室で過ごす、またはクールダウンすることが出来るよう配慮しています
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	頂いたご意見やご意向を職員会議等で共有し、改善へと繋げる事が出来るようにしています
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の意見交換に加え、気づきや課題についてはミーティングを開き、意見を発しやすい環境になっています
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		随時研修の機会を設けています
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		連絡アプリを使用、活用し公表しています
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談やお電話にて保護者様やお子様のニーズの聞き取りを行い、分析、計画し作成しています
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員で支援方法を検討していくと共に、適時変更もしています
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画に沿った支援を行い、記録を取ると共に全職員でモニタリングを行っています
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		今後も保護者様からの情報と、お子様の発達から項目を導き出し、具体的に支援内容を変更していきます
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保護者様からの情報と日々のお子様のご様子から項目を導き出し、必要な支援内容を設定しています
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		お子様の発達や状況に応じてチーム全体でプログラムを立案しています
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎日の活動内容について毎月にプログラムを検討しながら立てています。 お子様の特性に応じて、事業所のカラーである余暇支援の為、製作・身体を動かす・集団で行うゲーム・戸外活動等様々な活動を取り入れています

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		全職員で支援方法を検討していくと共に、適時変更できるようにしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日全職員で留意点などの確認を行い、役割分担等細かく打ち合わせを行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了後の振り返りには時間設定をし、要点をまとめて伝え合い、次回に向けての課題を共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録を撮る事を徹底し、記録を元に支援内容や手順を共有し、改善に努めています	今後も継続して支援内容の検証・改善に努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3か月毎の振り返りと、6か月毎にモニタリング、また必要に応じてカンファレンスを行い、個別支援計画を作成し、日々のミーティングで話し合いを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		組み合わせたり、活動の内容として取り組み行っています	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		お子様と企画会議等で意思を尊重する機会を作っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		障害児相談事業所によるサービス担当者会議には、利用者の状況や課題に応じて参加する職員を決定しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			現段階では出来ていない部分が多い為、今後体制について検討します
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		随時連絡調整を行い、お子様に不安が無いようになります。」また、学校と情報を共有する際は、保護者様に必ずご連絡を行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者様からの依頼があった場合、また必要となった場合には保護者様に確認を取った上で、情報共有を行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて、関係各機関と連携を取りながら障害福祉サービスへの移行をする場合、支援内容の情報共有を行っています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		必要に応じて支援の実施を検討します
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	地域の行事の見学等で参加することはあります	今後も必要に応じて支援の実施を検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		可能な限り参加しています
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡アプリでの情報共有や、随時面談を行い保護者様との共通理解が出来るよう努めています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ご家族に対して、講演会の案内や、情報提供を随時行っている。講演会の実施についてお知らせしています	ペアレントトレーニングに関しては実施できない為、今後検討していきます
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		丁寧な説明を心掛けており、その後の電話等による確認や相談にもお応えしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		連絡アプリや、随時お電話等によるフィードバック、また面談時の報告で意思をお聞き出します	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		丁寧な説明を心掛けており、その後の電話等による確認や相談にもお応えしています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時面談やお電話でのご相談をお受けし、実施しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		回数自体は少ない為、保護者会や茶話会、療育参観日等を実施し、意見交換会の場を増やしたり、提供することが出来るよう検討しています

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		すぐに対応しています。苦情の原因となる要因に対しても対策を取り、繰り返さないよう体制を整えます	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		連絡アプリの導入により、以前よりもスムーズに情報発信が出来るようになってきています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		上記のアプリ導入により、リスクを踏まえつつ日々注意しながら行っています	今後も全職員に周知徹底していきます。写真の掲載、販売に関しては同意書を確認しています
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々に合わせて配慮出来るようにしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		近隣の方に事業所で開催するイベントにお誘いする等、地域との交流を図っています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		研修、訓練を定期的に行い周知しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、年に2回の訓練を実施しています。実施前後には保護者様にもお知らせしています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		必ず事前に確認しています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象となるお子様への対応を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		研修を定期的に行い周知しています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		定期的に見直しを行い、お子様の安全確保に関してご家族様と連携を図ることが出来るようにしています	継続して職員に周知徹底すると共に、保護者会等を通じて保護者様への周知にも努めます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度共有し、事故防止に繋げています。同じことを起こさないようにファイルを共有閲覧出来る場所に置いています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年1回必ず研修を実施し、途中入社の職員にもその都度研修を行い、周知できるようにしています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、対象となる事例はありませんが、必要時は十分に配慮し、行なった場合は保護者様にも必ずお伝えします。個別支援計画にも記載しています	